

大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について(地震・津波関係)【抜粋】

旧
No.

No.	分野	項目	指摘場所	指摘日	コメント内容	回答日
S2-144	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第986回会合	2021年6月25日	検討対象シームの地下深部への連続性の説明に用いている敷地周辺の地質断面図に関して、作成根拠の一つとしている屈折法地震探査に基づき作成した速度構造断面図も提示すること。	今後ご説明予定
S2-145	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第986回会合	2021年6月25日	シームS-11について、深部のシームと地表付近のシームとを分けて基準適合性を判断するのではなく、シームS-11を一体として、規則の解釈別記1に照らして将来活動する可能性のある断層等に該当するか否かを評価し説明すること。また、地表付近のシームと深部のシームについて、名称、表現等を再考すること。	今後ご説明予定
S2-146	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第986回会合	2021年6月25日	地表付近のシームと深部のシームに関して、シームS-11がcf-3断層に切断された部分を起点として、深部のシームS-11の敷地内の分布を三次元的に示すこと。	今後ご説明予定
S2-147	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第986回会合	2021年6月25日	重要な安全機能を有する施設とシームS-11及び風化部の位置関係を示した断面図について、重要な安全機能を有する施設である原子炉建屋、軽油タンク、第一フィルタベント及び燃料補助建屋の4つの施設について、断面図を複数追加するとともに、根拠となる掘削面スケッチ、ボーリングコア等の基礎的な資料を提示の上、評価結果を説明すること。またその際、シームS-11層準中のシームの有無を整理すること。	今後ご説明予定
S2-148	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第986回会合	2021年6月25日	重要な安全機能を有する施設側面のS-11の周囲の岩盤性状等について、風化の程度の違いを明確化するために、数値データを基にした科学的な根拠により、重要施設側面に確認されるS-11の活動性に関する評価の確度を確認したい。以下の岩盤性状について、トレンチ、法面、ボーリングコア等から得られる定量的なデータを評価のうえ説明すること。 ・重要な安全機能を有する施設側面のS-11の周囲の岩盤性状 ・変状が生じていないcf-3断層に切断された箇所以深のシームS-11の周囲の岩盤性状 ・変状が生じている風化部の岩盤性状	今後ご説明予定
S2-149	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第986回会合	2021年6月25日	変状は強風化部に限定されること、岩盤の風化と膨張には関連性があることまでは理解する。但し、本日提示された各種分析データに対して以下を検討した上で、変状が生じた要因について再度説明すること。 ・地震動と膨張との複合的な要因もあり得るとの説明であった。そのような観点も踏まえ、観察データに合った要因について整理すること。 ・風化に伴う膨張を主な要因として主張するのであれば、さらなる定量的なデータ、科学的な根拠により、説明性を高めること。	今後ご説明予定
S2-150	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第986回会合	2021年6月25日	風化に伴う膨張の証拠について、以下を踏まえ検討し再度説明すること。 ・変状の平面的分布と風化部の厚さとの関係に関して、風化部が厚いほど膨張量が増え、その膨張率は10%程度であれば断層の有無に関わらず風化部の厚さの違いにより、段丘堆積物の基底面に不陸が生じるはずである。 ・本日提示された薄片観察結果は、風化に伴う膨張の証拠とは言えないと思われる。もう少し物理現象を理解でき、納得できる写真があれば提示頂きたい。 ・軽石の骨格が壊れると体積は小さくなる。もう少し理解できるロジックを示すと共にその証拠を提示すること。	今後ご説明予定

コメントNo.の凡例 (1列目)_H: ヒアリングでのコメント, S: 審査会合及び現地調査でのコメント

(2列目)_1: 敷地周辺地質, 2: 敷地地質, 3: 地下構造, 4: 地震, 5: 津波, 6: 火山, 7: 地盤・斜面

注1) 項目のうち「第四系中の変状」(第700回審査会合までの記載)については「後期更新世に生じた変状」に改称。